

### 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	東みよし町			代表者名	町長 松浦 敬治
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合窓口課	連絡先電話番号	0883-79-5333
担当者役職	課長	担当者氏名	藤原 和代	連絡先E-mail	
住所	771-2595 徳島県東みよし町屋間3673番地1				

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	窓口DX推進事業		
概要	今年度、デジ田交付金を活用し窓口DXを推進する。書かない窓口、遠隔窓口、キャッシュレス、コンビニ交付の4つの導入を予定している。システム導入が、町民の利便性を向上させ、窓口満足度を上昇させるため、アドバイザーの支援を希望する。				
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 RPA導入				

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	51	令和7年1月8日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月6日	支援・助言(実地)	13時30分	14時30分	
				活動時間(分)	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当町は、窓口支援システムの稼働を1月22日にあわせて進めている。稼働日2週間前となり、現時点でやったら良い事などを伺う。浜松市で携わられた知見を活かした的確なアドバイスを頂戴することができた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	10人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	10			

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	導入実績のない職員のみで検討するには大きな不安があり、先進的に取り組みのある自治体職員からの生の声(アドバイス)は、職員に響くため。また、4つのシステムを導入予定であることから、広い目線で相乗効果を発揮できるようにご支援頂きたい。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	導入したシステム(書かない窓口、遠隔窓口、キャッシュレス、コンビニ交付)を最大限に活用し、町民に庁舎間移動をさせない、申請書等への記入箇所を最小限にする、支払方法の選択肢を増やすことにより、窓口利用満足度を高めることを目標とする。また、職員が継続して窓口改善(BPRI)できる体制を整える。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	今回は、窓口支援システム及びキャッシュレス導入稼働を1月22日に控えており、今現在実施するとよい事や、経験を活かしてのアドバイスを頂戴した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	当町で疑問点としてあがっている事を質問するという形でご支援頂いたが、ご自身が浜松市で経験されてきたことを伝授くださり、とても分かりやすい内容で良かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	改善又は解決されなかった事はない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	導入したシステム(書かない窓口、遠隔窓口、キャッシュレス、コンビニ交付)を最大限に活用し、町民に庁舎間移動をさせない、申請書等への記入箇所を最小限にする、支払方法の選択肢を増やすことにより、窓口利用満足度を高めることを目標とする。また、職員が継続して窓口改善(BPR)できる体制を整える。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可  
 掲載許可     掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

